

QuarkXPress® 8

Xperience Design



ベストプラクティス： QuarkXPress 8への移行

出版分野の業務管理での最も難しい課題の1つは、ハードウェアやオペレーティングシステム、ソフトウェアのアップグレードに対応していくことです。常に変化するテクノロジーに対応しながら、現行のハードウェアおよびソフトウェアから新しいバージョンに移行する際の「ベストプラクティス」とは何でしょうか。すべてのケースに該当するとは限りませんが、本書はQuarkXPress® 8へのスムーズな移行に役立ちます。

一般原則

ハードウェア、ソフトウェアを問わず、移行に共通する有用な一般原則は以下のとおりです。

- 新しいバージョンのハードウェアとソフトウェアの実稼動環境に移行する前に、必ず機能の変更や追加に関する説明とトレーニングを行ってください。これを行わないと、後で制作ワークフローに深刻でコストのかかる影響が及ぶ可能性があります。
- 互換性の問題を回避するために、テクノロジー、ハードウェア、およびソフトウェアは常に最新のバージョンを維持し、ワークフロー全般に渡って可能な限り統一してください。
- 体系的なアップグレード計画を策定し、計画に従ってアップグレードを進めてください。

準備

タスクの種類を問わず、準備は大切です。ロックライミングに行く計画であれば、必要な装備を事前に確認しておかないと大変なことになります。ハードウェアやソフトウェアの移行/インストールのプロセスにも同じことが言えます。

概要

以下の点には、考慮が必要です。現場を慎重に調査して下記の質問に答えることが、移行を成功に導く秘訣です。

- **ハードウェアとオペレーティングシステムの要件**：現在のハードウェアとオペレーティングシステムはQuarkXPress 8をサポートしていますか。
- **XTensions®ソフトウェア**：使用中のXTensionsモジュールでQuarkXPress 8用にアップグレードが必要なものがありますか。
- **Quark® License Administrator**：QLAを最新版にアップグレードする計画がありますか。
- **サービスプロバイダー**：外部のサービスプロバイダーやフリーランサーにジョブを送信している場合、外部のサービスプロバイダーやフリーランサーもQuarkXPress 8への移行が必要ですか。
- **ワークフローの変更**：QuarkXPress 8の新機能に、制作ワークフローを改善できる方法がありますか。ある場合は、それらの機能を活用するためにワークフローを変更する計画はありますか。
- **トレーニング**：ユーザーがQuarkXPress 8の変更に対応し、新機能を活用するためのトレーニングにはどのくらい時間が必要ですか。
- **フォントとフォント管理ユーティリティ**：すべてのユーザーが同じフォントとフォントユーティリティを使用していますか。
- **コミュニケーション**：アップグレードの状況に関する情報を常に全員に通知する計画はありますか。

以下のトピックでは、これらの点について詳細に説明します。

ハードウェアとオペレーティングシステムの要件

ほとんどの組織には、QuarkXPressのインストールと実行に必要なハードウェアが揃っています。ただし、新しいバージョンのソフトウェアに必要なRAMは、以前のバージョンより多くなります。

使用しているハードウェアを評価するために、パワーユーザーに依頼して、実稼動コンピュータで実際のファイルを使用し、新しいバージョンで通常ワークフローを実行してもらうという方法もあります。状況を見て、RAMやその他のハードウェアを追加する必要があるかどうかを判断できます。

QuarkXPressだけでも、最小システム構成は以下のようになります。他のアプリケーションをQuarkXPressと同時に実行する場合には、RAMを追加しないと十分なパフォーマンスが得られない場合があります。

MAC OS

- Mac OS® X v10.4 (Tiger®) またはMac OS X v10.5 (Leopard™)
- G5以上の高速PowerPC®プロセッサまたはMac® Intel®プロセッサ (G4以上)
- 256MB以上のRAM。1GBを推奨。
- 1GBのハードディスクの空き容量

WINDOWS

- Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2)、またはWindows Vista® 1.0 (Windows Vista対応確認済み)
- Windows XPで256MB以上、Windows Vistaで512MB以上のRAM。1GBを推奨。
- 500MBのハードディスクの空き容量

XTensionsソフトウェア

アップグレード前に、通常実稼働環境で使用するすべてのQuarkおよびサードパーティXTensionsソフトウェアのリストを作成し、各XTensionsモジュールの製造業者にQuarkXPress 8での実行用に更新されているかを確認してください。QuarkXPressを使用するワークフローに関与する全員と話をしてください。QuarkXPress 8との互換性のないXTensionsモジュールに依存しているユーザーがいる場合、アップグレードするとワークフロー全体が停止する可能性があります。

Quark License Administrator

サイトライセンスを保有している場合は、Quark License Administratorを使用してQuarkXPressライセンスを管理している可能性があります。QuarkXPress 8には、最新版のQuark License Administratorが必要になるため、QuarkXPressと同時にQLAのアップグレードも計画する必要があります。

出力デバイスと印刷／PDF書き出しテスト

QuarkXPress 8にアップグレードする場合、すべての出力デバイスで、すべての出力プロセスをテストすることが不可欠です。QuarkXPress 8では、PostScript®レベル2、PostScriptレベル3、PDF/X-1a、およびPDF/X-3形式などでのジョブの出力が可能であるため、さまざまな出力タイプで、出力デバイスを個別にテストする必要があるかも知れません。

サービスプロバイダー

サービスプロバイダーに出力を外注している場合、QuarkXPress 8へのアップグレード計画について早めに知らせて、外部のサービスプロバイダーも出力テストの計画に参加させてください。

ワークフローの変更

QuarkXPressの最新バージョンには、Composition Zones®やJob Jackets®などの新しいツールの機能をはじめ、ワークフローの改善に役立つさまざまな機能が含まれています。アップグレードを計画する場合は、これらの機能がワークフローの改善にどう役立つかを吟味してください。QuarkXPress 8へのアップグレードの完了後にワークフローを更新するのではなく、2つのプロセスを1つに統合するのも良い方法です。

トレーニング

アップグレードを成功させるには、移行計画にトレーニングの時間を確保することも重要です。特に、QuarkXPress 8のツールやボックスの変更についてユーザーに説明することが重要です。これらの変更はQuarkの操作に慣れているユーザーにできる限り影響しないように設計されているため、ほとんどの場合は問題なく移行できるはずです。ただし、導入する前に、少なくともすべてのユーザーに新しいインターフェイスの概要を説明して、変更について理解を促すとともに、迅速かつ効率的に作業を行えるように手助けをする必要があります。

フォントとフォント管理ユーティリティ

他のソフトウェアと同じように、フォントにもさまざまなバージョン、種類、および機能があります。QuarkXPress 8ではフォントにかかわる新機能は導入されていませんが、アップグレード時にはフォントにも注意することをお勧めします。

特に、フォントとフォント管理ユーティリティの共通性は重要です。フォントの作成元、種類 (PostScript、OpenType®またはTrueType®)、作成日、破損の有無、管理方法などにも注意してください。フォント管理ユーティリティを使用している場合は、ユーティリティのバージョンが最新であることを確認する必要があります。ワークフロー内での一貫性を確保するために、全員のフォントユーティリティ設定を標準化してください。

多くのフォント管理ユーティリティベンダーは、フォントを長期に渡って正常に使用できるように、追加ソフトウェアを提供しています。長い目で見れば、フォントの問題を早い段階で解決しておくことが時間の節約につながります。

コミュニケーション

移行プロジェクトチームとエンドユーザーとのコミュニケーションは非常に重要です。エンドユーザーは制作作業が中断される可能性に備えておく必要があります。また、エンドユーザーに不安を抱かせないように配慮する必要があります。さらに、エンドユーザーが臆せず問題を経済的に報告できるようにする配慮も必要です。どこに問題があるのか把握できなければ、問題は解決できません。アップグレードの予定について頻繁に予告するのはおかげさやうですが、ユーザーから見れば、突然にアップグレードが実行されて警告なく作業が中断されるよりも、ずっと良いことです。

テスト

組織を新しいハードウェアまたはソフトウェアにアップグレードする場合、テストを行うことは計画と同じくらい重要です。ほとんどの場合、アップグレードのために制作作業を中断することは現場には許されません。テスト計画の目的は、アップグレードプロセス中に通常どおりの作業が継続できることを確認することです。

手順1：ベースコンピュータ

テストの最初の手順は、QuarkXPressがベースコンピュータで稼働することを確認することです。この手順は、以下のとおり実行します。

1. 現場で使用されている平均的なハードウェアで構成されたコンピュータを選択します。ハードディスクを再フォーマットして、新しいオペレーティングシステムをインストールします (既存のインストールを複製するのではなく、OSを最初からインストールしてください)。メンテナンスパッチがあればインストールします。ただし、フォントやフォントユーティリティはまだインストールしないでください。
2. Quark License Administratorを使用している場合は、QLAの最新バージョンを別のコンピュータにインストールして、ベースコンピュータにインストールするQuarkXPressのコピーのライセンスを正しく管理していることを確認してください。
3. ベースコンピュータにQuarkXPress 8をインストールして、一連の基本テストを実行します。以下の質問に答えてください。
 - 起動しますか。
 - 適正な速度で実行されますか。
 - 基本的なレイアウトを印刷できますか。
 - PDF形式でレイアウトを書き出せますか。
4. 制作で使用するフォントおよびフォント管理ユーティリティ (使用する場合) をインストールします。フォントが「クリーン」 (信頼できるソースのフォントで、現行バージョンに更新されている) であることを確認してください。フォントの履歴に疑問がある場合は、クリーンなバージョンを入手するまでインストールしないでください。フォントユーティリティの環境設定は、必ずすべてのユーザーに設定する方法で設定してください。
5. 別の一連の基本テストを実行します。
6. 制作で使用するその他のソフトウェアをインストールし、一連の基本テストを再度実行します。

ベースコンピュータが問題なく動作することを確認したら、そのコンピュータを別のコンピュータに「複製」して、時間と労力を節約することもできます。ただし、その場合は、ベースコンピュータが意図したとおりに正しく設定されていることを確認してください。ベースコンピュータに単純な設定ミスがあると、そのミスが全社的に伝播される結果になります。このプロセスで問題が生じるのを避けるため、テストプロセスにも「複製」の手法を組み込むことも可能です。

手順2：パワーユーザー

次の手順は、「パワーユーザー」（新機能をすぐに使いこなせる経験豊富なユーザー）に依頼して、QuarkXPress 8をベースコンピュータで使用し、起こりうるすべての潜在的な問題を報告してもらう方法です。

パワーユーザーにソフトウェアと新機能の限界を試すように依頼します。パワーユーザーには、まず、プロジェクトを最初から作成して、既存のファイルで数日間実稼働環境での作業をしてもらいます。QuarkXPress 8の新機能をワークフローに組み入れる計画をしている場合は、パワーユーザーにサンプルの「ミニワークフロー」で、これらの新機能を使用するいくつかのテストを実行して、フィードバックを提供してもらいます。このプロセスによって、変更が必要な環境設定、再構築が必要なテンプレート、置き換えが必要なフォントなどを明らかにします。

ベースコンピュータでのパワーユーザーの満足度に関わるあらゆる問題を解決することは、すべてのユーザーの利益につながります。

手順3：サンプルワークグループ／ワークフロー

次の手順は、制作ワークフローで新しいバージョンを使用するときに起こる問題を明らかにするのに役立つミニワークグループを作成する方法です。ベースコンピュータをテンプレートとして使用し、4～5台のコンピュータを追加設定してユーザーを追加します。デザイナー、レイアウト作成者、品質保証担当者、プリプレス専門家、および出力サービスプロバイダーの担当者など、ワークフローに参加する各部門から担当者を選択します。

この実施目的は、新しいバージョンとワークフローに加えた変更を使用して実際のジョブを作成することです。ミニワークグループのメンバーにQuarkXPress 8を使用するトレーニングを実施して、作成から最終的な出力まで、ワークフロー全体を実行させます。発生した問題とワークフローの改善に関連する提案を報告してもらいます。

ベースコンピュータを使用したミニワークグループで発生した問題は1つも残さずに解決してください。この修正と推奨事項はすべてのユーザーに役立ちます。

立ち上げ

移行トレーニングに関するサポートが必要な場合は、社内でのトレーニングが可能か、クォーク社またはパートナーのトレーナーによる訪問が必要かの判断について担当者がご案内いたします。

実稼働環境でのQuarkXPress 8の最終的なロールアウトを計画する場合は、新しいハードウェアとソフトウェアのロールアウトだけでなく、全般的な実稼働スケジュールのどこにロールアウトをはめ込むかについても考慮してください。移行トレーニングは、ロールアウトを円滑にするための重要なポイントです。

手順1：ロールアウト計画の作成

ロールアウトを「一斉に」実施して問題が発生した場合、制作作業は中断され、問題が解決するまでスタッフが活動できなくなるという危険があります。このため、新しいハードウェアとソフトウェアのロールアウトは段階的に計画することが非常に重要です。

通常、一度に1つの出版物または1つの主要なワークフローチームに実施して、それぞれがスムーズに機能していることを確認してから次に進むのが最善の方法です。これらの一般的なガイドラインだけでなく、ワークフローに合ったソフトウェアのロールアウト計画を選択してください。以下に、ロールアウト計画の例をいくつか示します。

- **水平アップストリーム型**：ロールアウトをプリプレスグループまたは出力サービスプロバイダーなどの制作プロセスの末端から開始します。次に、1段階上流（たとえばQAチーム）に移動して同一作業を実行します。このようにしてレイアウトや制作チームを経由して、デザインチームで終了します。この方法を使用すると、ファイルはワークフロー全体を移動しますが、最終的にQuarkXPressの新しいバージョンで開かれ、以前のバージョンで開く必要が生じる可能性が低くなります。
- **垂直チーム型**：組織が特定の種類のドキュメント制作についてあらゆる処理を行う小規模な「垂直」チームに分割されている場合は、チーム全体に1度にロールアウトできます。

- **複合型アプローチ**：プロセスの一部では垂直型のチームを使用しているが、プロセスの他の部分では部署を単位として使用している場合は、上記の2つのプロセスを組み合わせる必要がある場合があります。たとえば、プリプレス部門は一括して同時にアップグレードするが、プリプレス部の作業を請け負うチームについてはそれぞれ別個にアップグレードを行うという方法が考えられます。

組織によって効果的な方法は異なります。最も重要なのは、アップグレードに着手する前に、十分な検討を重ねて計画を立てることです。

手順2：移行トレーニング

QuarkXPress 8には、ツールセットの完全な再設計やボックスとコンテンツの操作の合理化などの、多数の新機能と拡張機能があります。アップグレードのロールアウトは、これらの機能やその他の新機能についてスタッフをトレーニングする絶好の機会です。

トレーニングに関するサポートが必要な場合は、クォーク社の担当者にご連絡ください。最適なトレーニングプログラムを判断する手助けいたします。また、QuarkXPress 8の新機能を十分に活用するためにワークフローの変更を決定した場合は、新機能についてのユーザー対象のトレーニングも含めてください。

手順3：立ち上げ

準備が終了し、慎重にロールアウト計画を作成したら、立ち上げの準備完了です。変更をロールアウトする場合は、次のセグメントにロールアウトする前に、問題を見つけ解決してください。

QuarkXPress 8への移行についてご質問は、お近くのクォーク社の担当者にお問い合わせください。

North America

Quark Inc.
1800 Grant Street
Denver, CO 80203
www.quark.com
+1.800.676.4575
+1.303.894.8888

Europe

Quark Media House Sàrl
Rue Du Monruz 2
2000 Neuchâtel
Switzerland
euro.quark.com
00800 1787 8275
+41 (32) 720 1414

Asia

Quark India Pvt Ltd.
A 45 Industrial Area
Phase VIII B Mohali 160059
Punjab, India
www.quarkindia.com
+91.172.2299.131

Japan

Quark Japan K.K.
West 248 bldg.
2-4-8 Ebisu-nishi
Shibuya-ku, Tokyo
150-0021 Japan
japan.quark.com
+81-3-3476-9440

